

## 「地域有機農業の早急かつ全力の振興」に関する陳情

### [願意]

市民の健康と食の安全保障および温暖化防止と持続可能な船橋のために地域有機農業の振興に早急かつ全力で取り組んでいただきたい。

### [理由]

日本ではまだまだですが世界では有機農業が主流になりつつあります。理由は人間身体の健康と生態系および地球の持続性です。もともと日本にあった伝統的な農法がベストであるということで、その回復と発展が焦眉の課題です。

日本の食品は規制が甘く他の先進国にくらべ多量の農薬が使用されています。ネオニコチノイドは神経系統をかく乱し虫などの命を奪う。害虫だけを殺すわけではなく、すべての生き物を殺し、人間にも多大な害を及ぼします。二人に一人はガンになり、子どもの発達障害も増えています。アレルギーを持たない人は少ないのではないのでしょうか？

また、直接の影響だけでなく多くの虫が現に絶滅しています。これは虫による花粉運搬で子孫を残している植物をも絶滅させてゆきます。有名な生物学者であるE. ウイルソン博士は「人間が絶滅しても1万年前の地球に戻るだけだが、虫が絶滅したら億年来の生態系は大混乱するでしょう。」と述べています。今、大変危険な方向へ向かっているといえます。

また有機農業に戻ることは大量の二酸化炭素を削減することにもなります。

農薬によって機能を失った土も生き返ります。虫も戻ってき、生態系と農業も持続可能になるでしょう。

そして、今回のウクライナ戦争の影響で食品の高騰が現に国民を苦しめています。輸入食品および慣行農業は化石燃料に支えられており、これからも高騰してゆくでしょう。そして、台湾有事が現実味を帯びている政治情勢によっては6000万人以上が飢えるとの専門家の書物も何度かでています。

結論として、地産の有機農業の一刻も早い復活が生命の安全保障上喫緊最重要の課題です。地域の有機農業の保護と振興を早急をお願いしたいと思います。また、市民農場の設立などにより市民が自給できる社会を早急に創っていただきたい。